

メーカー	Mercedes Benz
タイプ	W124 E320
年式	1,995
全長(mm)	4,740
全幅(mm)	1,740
全高(mm)	1,410
重量(kg)	1,350
エンジン	直列6気筒 DOHC
排気量(CC)	3,199
馬力(hp)	225

W123型の後継車にあたります。

ボディは4ドアセダン、5ドアステーションワゴン、2ドアクーペ、2ドアカブリオレ、6ドアリムジンが存在しました。

機構的にはW201型 (190E)のサイズと全長を大型化したもので、台形の小ぶりなテールランプが特徴です。リアサスペンションは長らく続いたセミトレーリングアーム式から**190Eで開発されたマルチリンク式**に変更されています。フラッシュサーフェイス (外板の平滑化) が推し進められた結果、メルセデス市販車では史上初となる0.29のCd値となりました。

1985年、ドイツ本国で発売開始。

翌1986年に日本発売、当初はセダンの230E、300E、300Dターボ車のみの販売です。1987年、260Eとクーペの300CEが追加とともに230Eの右ハンドル車が設定されました。1988年、ステーションワゴン230TEを追加し、1989年、300TE、260E 右ハンドルが追加されました。また、260Eロングホイールベース (6ドアリムジン) が限定販売されました。

1990年、外装を中心にマイナーチェンジし、クーペに装備されていたサイドプロテクトパネル (サッコプレート) を全車に標準装備しました。クーペは300CE-24に切り替わり、4MATICが300Eに設定されました。

W124 500E

1991年、500Eおよび400Eが追加されました。

なお、500Eは標準車のボディにエンジンベイ及びフロアトンネル拡大などの補強を行い、500SL (R129系) に搭載されていたV8エンジン及び足回りを移植したモデルで、標準車に比べフロントフェンダーが大きく張り出しています。**開発はボルシェのバイザッハ研究所が担当**し、生産工程の一部も1992年までボルシェの工場で行われていました。

1994年に生産終了となりますが、最終限定車としてE500リミテッドが500台限定で発売されました。

日本へは未導入ながら多数が並行輸入されています。

400Eは北米や日本向けのグレードで、開発のきっかけとなったのは1989年発売のレクサスLS400 (日本名トヨタ・セルシオ) でした。W124はレクサスLSよりも1クラス下のセグメントに属しますが、北米での価格・車格はほぼ同等で実質的なライバルとされていました。400SEと同じエンジンを積みながら排気系スペースの問題でパワーダウンしますが、後の圧縮比見直しで改善されています。

「最善か無か」の時代に10年にも渡り製造されましたW124は現在でも人気は高いです。

本車両はW124としての最後の時期に輸入された車両で、一部の加修を加えて、動態保存されています。

【ヤナセ保有車両】